

コンセプト

株式会社富士通ビジネスシステムは、
最も重要な経営資源の
「人」に着目してFM実践。

ここで働きたくなるような
オフィス

「人」 生産性が高い
オフィス

ITの
積極活用



主な狙い

ノウハウの共有

- ・オフィスでのコミュニケーション機会創出
- ・多拠点間での情報共有

コストの削減

- ・携帯電話の内線化による通信費用削減
- ・TV会議システムの導入による出張費用削減

自社での実践例

- ・中規模な事業所への適用を目指したモデル
- ・実践を通じて得たノウハウをビジネスとして提供

FMの推移

コスト削減

情報の共有化

ES向上

1998 ~ 大森オフィス

- ・座席運用 : 固定席
- ・電話環境 : 固定電話
- ・通信環境 : LAN
- ・ドキュメント : 紙文書中心
- ・コミュニケーション : 会議室

2003 ~ 秋葉原オフィス

- ・座席運用 : フリーアドレス席(座席85%)
- ・電話環境 : 構内PHS電話
- ・通信環境 : LAN(高速化)
- ・ドキュメント : 紙文書&データ
- ・コミュニケーション : コラボレーションスペース

2009 ~ 神田オフィス

- ・座席運用 : フリーアドレス席(座席70%)
- ・電話環境 : 携帯電話(内線化)
- ・通信環境 : LAN(高速化)
- ・ドキュメント : データ中心
- ・コミュニケーション : コラボレーション & 会議室



本部概要(参考)

- ・情報処理サービス業における工事部門。
- ・「業務」「営業」「設計」「施工」「保守」の各部門にて構成され、一つの会社同様の組織。
- ・当オフィスは、全国拠点を持つ本部のヘッドオフィス。

活動

ワーキンググループ活動

社内実践と自社ビジネス(オフィス構築)の強化を目的に、一般社員中心に人選して活動
・POEM-Oの手法を参考



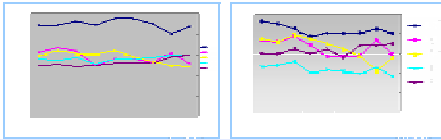
A. 不満足の調査

従業員の不満をヒアリング・分析し、ファシリティと運用での解決策を検討



B. 在席率の調査

執務空間における在席状況を調査・分析、必要席数や必要機能などを検討



提案書

予算化

実践

入居後評価

改善活動

主なポイント

フリーアドレスの強化

- ・効率的なスペース活用
- ・席数: Before 85% After 70%

携帯電話の内線化

- ・取次業務の効率化と通信コスト削減
- ・レイアウト変更時の工事コスト削減

TV会議システムの導入

- ・他拠点との情報共有と敏速な決定
- ・出張に伴うコスト削減

コミュニケーションスペースの拡大

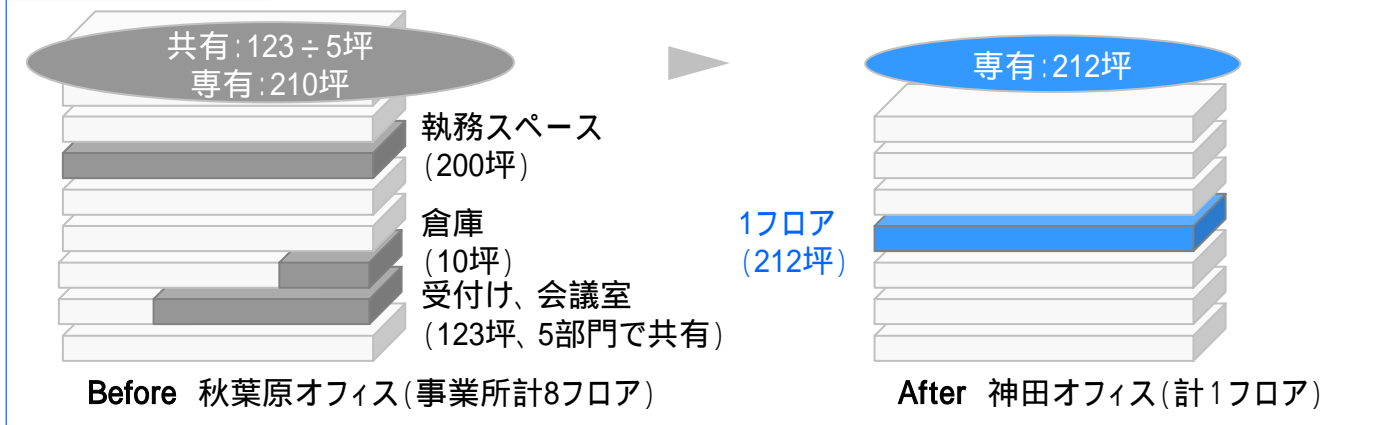
- ・人員規模に応じて連結利用
- ・フレキシブルなレイアウト

複合機の集約設置と認証導入

- ・集約設置によるコスト削減
- ・印刷制御によるセキュリティ向上



スペース削減



実践紹介



導入後



携帯電話の内線化

取次業務の効率化、通信コスト削減



TV会議システム

他拠点との情報共有と敏速な決定



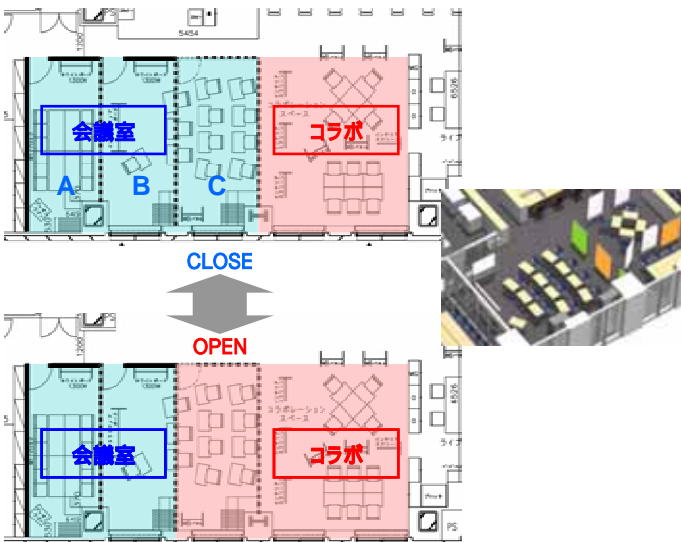
受付

LED照明の実装によるエコ意識向上



複合機コーナー

コスト削減とセキュリティ向上



会議室 (A,B,C)

人員規模に応じて連結利用



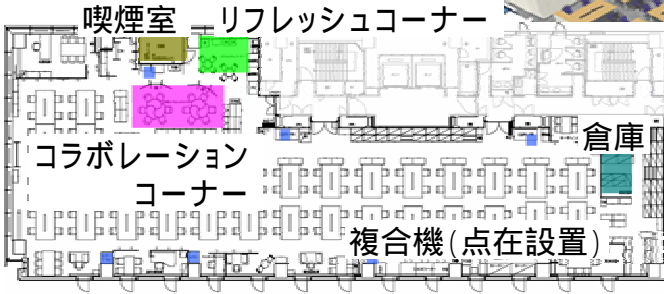
コラボレーションスペース

フレキシブルなレイアウト



移転前 / 移転後のレイアウト比較

秋葉原事務所 (~ 2009.04)



フリーアドレス実践

構内PHS採用

- ・フリーアドレス席 85%
- ・フロア面積 200坪
(受付、会議室は別フロア)



神田事務所 (2009.04 ~)

- ・フリーアドレス席 70%
- ・フロア面積 212坪
(受付、会議室を含む)

倉庫 (拡大)



検証室

エコの実践
(カーペット、LED)

カウンタ席

リフレッシュ
コーナー(分離)

ライブラリ

